

7月22日の部分日食をみよう

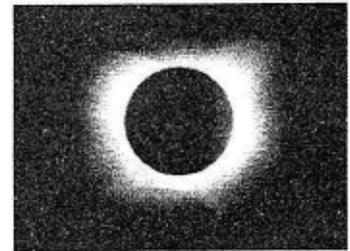
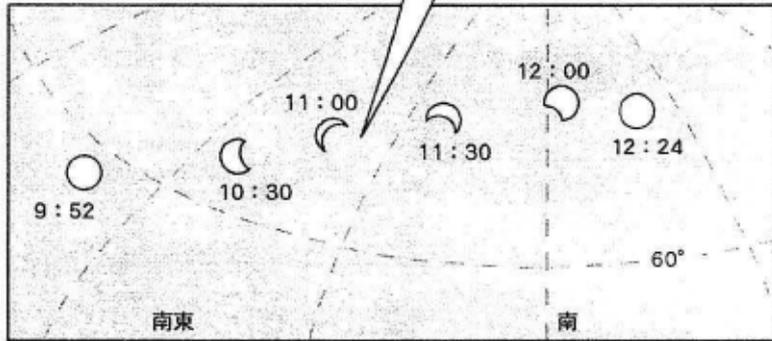
今回の日食のようす

日食のはじまり 9:52
 最大(一番欠ける) 11:07
 日食の終わり 12:21

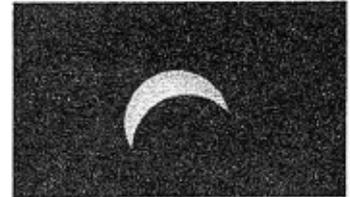


次回富山で見られる日食

2012年5月21日 朝
 最大で92%欠ける
 2016年3月9日 午前
 最大で21%欠ける



皆既日食



部分日食

(共に1983年インドネシア日食)

7月22日(水)の昼前に、富山県内で約4年半ぶりに日食を見ることができます。今回は直径の約74%が欠ける深い日食で、太陽が三日月のような形に見えます。

日食は太陽の前を月が通り、太陽の姿を隠す現象です。見かけ上、月と太陽の大きさがほぼ同じなので、月が太陽を完全にかくした時に太陽の大気(コロナ)がみえることがあります。これを皆既日食といいます。今回皆既日食が見られるのは、日本列島の奄美大島北部から屋久島にかけてと中国の上海付近から内陸にかけてです。

富山では太陽の一部が隠れる部分日食になります。太陽の光は強烈で、直接目で見るとは大変危険ですので、絶対に行わないでください。下の図のように太陽の光を鏡に反射させて、室内に太陽の像をつくる方法をお勧めします。なお、富山市天文台のホームページに安全な日食の観察方法を載せていますので、ご覧いただければ幸いです。

(2009年6月渡辺誠・中林みぎわ)

★作り方

- ① 紙を鏡の大きさに合わせてに切り、中央に直径約10mmの穴をあけます。



*穴は、丸くなくても大丈夫です。四角や星形などの穴でも試してみましょう。

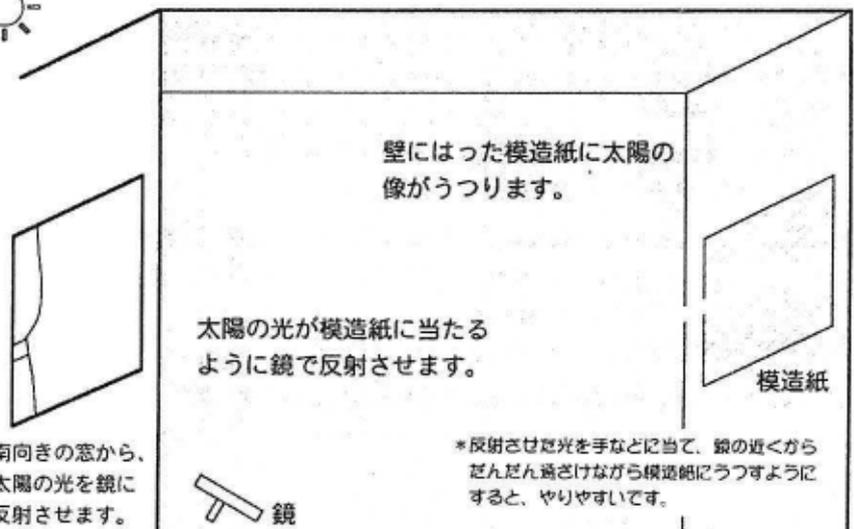
- ② ①の紙を鏡にはります。



*穴のまわりが浮いてしまわないようにしつかりはりましょう(穴のまわりが浮いていると、うまく像が出ません)。

★観察のしかた

窓と反対側の壁に白い模造紙をはり、部屋を暗くします。



壁にはった模造紙に太陽の像がうつります。

太陽の光が模造紙に当たるように鏡で反射させます。

模造紙

南向きの窓から、太陽の光を鏡に反射させます。



*反射させた光を手などに当て、鏡の近くからだんだん遠ざけながら模造紙にうつすようにすると、やりやすいです。